

前号まで「基本作品のスタイル変更」と「オリジナル製図の作成」で製図の作成を練習しました。今回は、それらの製図を使って模様と重ねる練習をします。

- 製図は、以前に製図の移動をしていないファイルを使用します。
- 模様は、「ステッチデザイナー」の「既存の模様」から編込みを使用します。
- 文字・数字入力は、「半角カタカナ」か「半角英数」で入力します。

製図に模様を重ねるには



「ステッチデザイナー」を選択します。

1. キャリジのスタート方向等を決めるために使用する編機を設定します。

「オプション」メニューの「編機」を選択します。

「使用する編機を選択する」ダイアログが表示され「Silver Reed SK840,500,560,580……」を選択し、右上の「設定」をクリックします。

「Silver Reed SK840,500,560,580の設定」ダイアログが表示され全てにチェックが無いことを確認し「OK」をクリックします。→「OK」をクリックします。

2. 「ファイル」メニューの「製図ファイルを開く」を選択します。

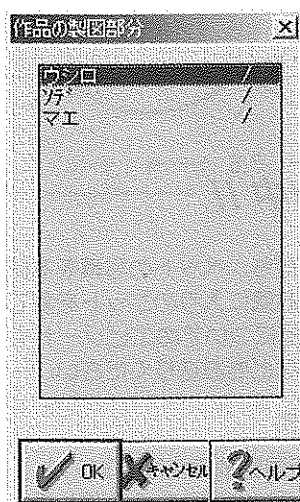
保存されているファイルの中から使用するファイルを選択し、「OK」をクリックします。



「製図の表示」ツールが自動的に機能します。

3. 「ファイル」メニューの「模様ファイルを開く」を選択し、「既存の模様」から使用する模様を選択します。（模様ファイルにFという文字が入っているのは、編込み模様です。）

4. 「合成」メニューの「製図部分の表示」を選択します。



左図のダイアログが表示され、製図を選択し「OK」をクリックします。製図ごとに模様が違う場合はこれを使用すると便利です。

画面に製図と模様が重なり表示されます。

「全ての製図部分」を選択した場合は、全ての製図が模様の上に小さく表示されます。

※ 以前に製図の移動をしたファイルは、移動された状態で保存されています。

5. ゲージを入力します。

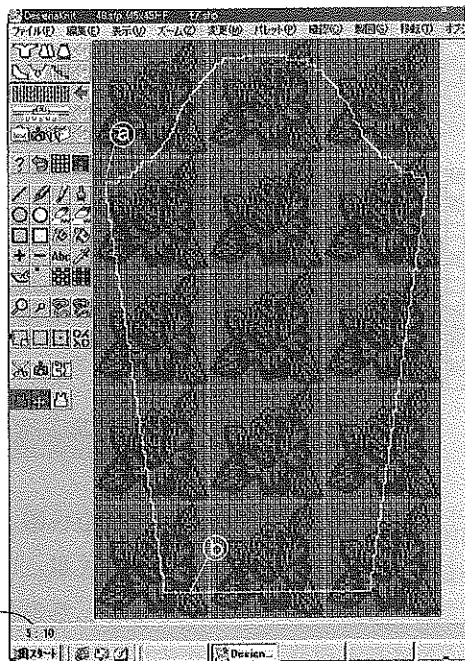
「オプション」メニューの「編目ゲージ」を選択しゲージ入力します。

模様がゲージの比率で配分されます。

6. 「製図部分の移動」ツールを選択し、模様 of 適切な位置に製図を移動させます。

Aの方法…マウスの左をクリックし、希望位置までドラッグします。

Bの方法…カーソルキーを使い製図を細かく移動します。



① 座標は、移動機能中の製図の左端最大目数④位置と最下段数⑤位置を表示します。

例

5	:	10
---	---	----

(目数) (段数)

② 製図中心と1模様の左1目1段めに合わせる場合

段は、カーソルキー ・ で座標が0になるまで移動します。

目は、 で製図を左へ移動させ を押しても製図の移動と座標の表示が止まった位置が製図中心と合った位置となります。

座標数字が最適な位置になったら キーを押します。

☆製図の移動時、画面から製図が全て消えて見えないとき

画面下の水平スクロールバー

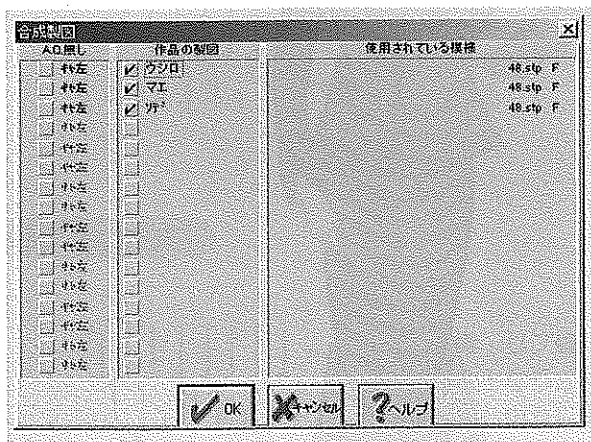
をクリックして ボックスを移動し と合わせます。

()

7. 他の製図部分も同様に模様位置を合わせます。4と6を繰り返します。ゲージ入力は、5で入力していますので行わなくて良いです。

8. 全ての製図と合成模様の確認をします。

「合成」メニューの「模様と合成」を選択します。「合成製図」のダイアログが表示されます。



① 「AC無し」は、キャリジのスタート位置です。

チェックを入れると左からスタートします。

製図と模様を合成したものは、ここでチェックを入れないと、後では変更できません。

② 「作品の製図」は、すべての製図部分が表示され に がされています。

③ 「使用されている模様」は、使用される模様の名前と編み方を表示しています。

①・②・③を確認して「OK」をクリックします。

9. 製図と模様の合成を保存します。

「ファイル」メニューの「製図の保存」を選択します。製図のファイル名で保存されました。